

平成 26 年 7 月 28 日～8 月 3 日までの全国の暑さ指数 (WBGT) の
観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について
(お知らせ) (平成 26 年度第 8 報)

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5 月 12 日(月)から情報提供を開始したところです。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約 150 地点について、過去 1 週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行うことといたしました。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 先週(7月28日～8月3日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数 31℃以上(危険)の時間数(168 時間中)

1. 与那国島(沖縄県)	40 時間
2. 久米島(沖縄県)	39 時間
3. 石垣島(沖縄県)	32 時間
4. 西表島(沖縄県)	24 時間
5. 南大東島(沖縄県)	23 時間
6. 宮古島(沖縄県)	22 時間
7. 豊岡(兵庫県)、萩(山口県) 日田(大分県)	8 時間

<参考>全国 9 都市の観測地点

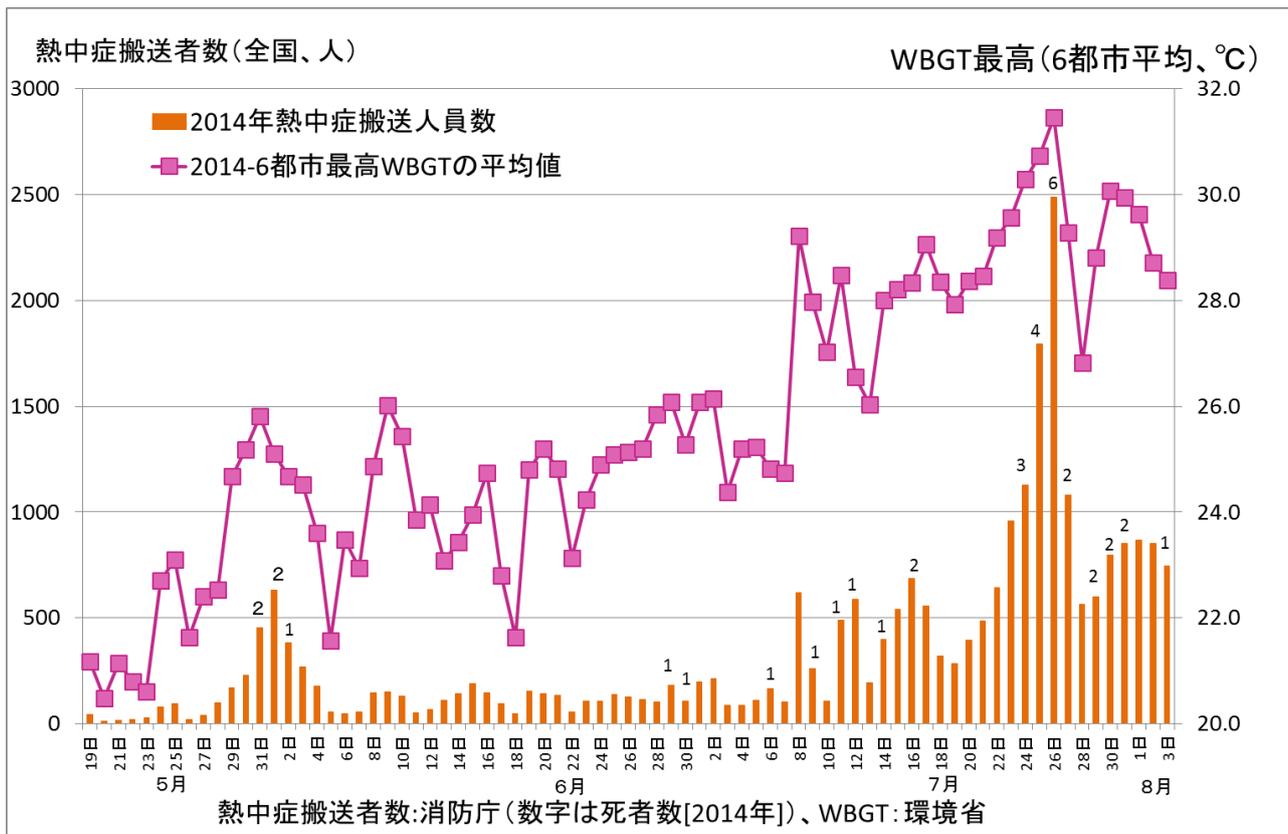
札幌(北海道)	0 時間
仙台(宮城県)	0 時間
新潟(新潟県)	0 時間
東京(東京都)	0 時間
名古屋(愛知県)	2 時間
大阪(大阪府)	0 時間
広島(広島県)	0 時間
福岡(福岡県)	6 時間
鹿児島(鹿児島県)	3 時間

(注 1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

(注 2) 暑さ指数 31℃以上の時間数は、今回の調査では、与那国島の 40 時間が最多で、153 地点のうち 57 地点で暑さ指数 31℃以上の時間がありました。なお、暑さ指数 31℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、運動は原則中止レベルです。

3. 6都市の暑さ指数と熱中症による救急搬送者数（全国）との関係

6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、7月28日～8月3日までの期間は27～30℃でした。熱中症による救急搬送者数は、消防庁発表の速報によると562～869名(最多は8月1日)で、先週より減少しましたが、引き続き高い水準になっています。
- 東日本、西日本、南西諸島では、7月28日～8月3日までの期間、昼間の日最高暑さ指数(WBGT)は28℃を上回った日が多く、また、北日本でも週末から暑さ指数が28℃を越えた地点が増加し、熱中症に厳重な注意が必要な状態となっています。熱中症危険度の「厳重警戒」を示すWBGT28℃を超えた地点は39～115地点(全153地点中)で、ほぼ全国的に熱中症に厳重な注意が必要です。
- 気象庁発表(8月6日11時時点)の週間天気予報では、最高気温・最低気温ともに、平年並か平年より高くなりますが、期間の中頃にかけて、最高気温が平年より低くなる所がある見込みです。
- 東日本と北日本を中心に厳しい暑さが続いており、引き続き、熱中症に厳重な注意が必要な暑さが続きます。こまめな水分補給や積極的に休息をとるなど体調管理に気をつけ、最新の気象情報を利用し、熱中症に注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。

6都市：東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡